

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 3 月 12 日 (2009.3.12)

【公開番号】特開 2006-212770 (P2006-212770A)
 【公開日】平成 18 年 8 月 17 日 (2006.8.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-032
 【出願番号】特願 2006-5642 (P2006-5642)
 【国際特許分類】

B 8 1 B 3/00 (2006.01)

G 0 1 J 5/40 (2006.01)

【F I】

B 8 1 B 3/00

G 0 1 J 5/40

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 1 月 9 日 (2009.1.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

上面を有する基板と、

前記上面に回転可能に接合され、加熱されることに反応して屈曲するように構成されたバイモルフ部を有する、1 つまたは複数の棒材と、

前記上面に回転可能に接合され、前記 1 つまたは複数の棒材に実質的に不可動に接合されたプレートとを含み、

前記 1 つ又は複数のバイモルフ部が加熱されることに反応して、前記プレートが前記上面からさらに遠ざかるように、前記 1 つまたは複数の棒材およびプレートが構成される装置。

【請求項 2】

各棒材の一端が、前記基板に接触する第 1 のタイプのヒンジに接続され、前記プレートが、前記基板に接触する第 2 のタイプのヒンジに接続される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記第 1 のタイプのヒンジが、前記第 2 のタイプのヒンジとは異なる軸を中心に回転する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記基板上に配置され前記プレートに面する導電性プレートをさらに含み、これら 2 つのプレートが、コンデンサのプレートを形成する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記プレートが、前記棒材の少なくとも 3 倍の幅を有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記ヒンジが、板ばねである、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 7】

前記プレートを前記第 2 のタイプのヒンジに接続する 1 対の棒材を、前記プレートがさらに含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 8】

上面を有する基板と、

連動する第 1 のヒンジによって前記上面に回転可能にそれぞれが接合され、加熱されることに反応して屈曲するようにそれぞれが構成された、1 つまたは複数の第 1 のバイモルフ棒材と、

連動する第 2 のヒンジによって前記上面に回転可能にそれぞれが接合され、前記 1 つまたは複数の第 1 の棒材のうち 1 つに実質的に不可動にそれぞれが固定された、1 つまたは複数の第 2 の棒材と、

前記 1 つまたは複数の第 1 の棒材のうち 1 つに実質的に不可動に固定された第 1 のコンデンサ・プレートと、

前記第 1 のコンデンサ・プレートに面し、前記上面に不可動に固定された第 2 のコンデンサ・プレートと

を含む装置。

【請求項 9】

前記 1 つまたは複数の第 1 のバイモルフ棒材が加熱されることに反応して、前記第 1 のコンデンサ・プレートが前記上面からさらに遠ざかるように、前記棒材が構成される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記 1 つまたは複数の第 1 のヒンジが、前記 1 つまたは複数の第 2 のヒンジが回転する前記 1 つまたは複数の軸から異なる 1 つまたは複数の軸を中心に回転する、請求項 8 に記載の装置。